

映画と対談

福島の実況、避難者の今を知ってください

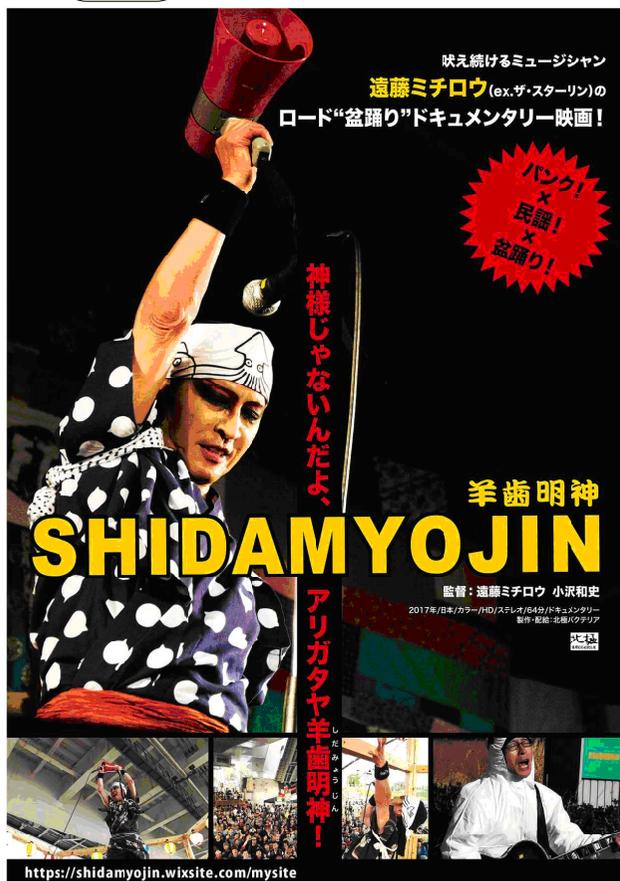
ロード“盆踊り”ドキュメンタリー映画「SHIDAMYOJIN」上映会と、木村真三さんと監督の対談

「愛媛 900キロの彼方から～

福島(福島第一原発) 900 km → 愛媛(伊方原発) ← 900 km 沖縄(嘉手納基地)」

映画

ドキュメンタリー (71分)



対談

木村真三さん (放射線衛生学者) ・ 遠藤ミチロウさん (監督/ミュージシャン)

東京電力福島第一原発と旧ソ連ウクライナのチェルノブイリ原発の事故で、汚染状況の調査を続ける木村真三・獨協医科大学准教授と、高齢者ばかりが残った福島県いわき市志田名(しだみょう)地区で盆踊りを復活させたミュージシャン遠藤ミチロウさんの対談。

日時: 2018年 2月17日(土) 13時開場 13時30分開演

会場: 日本キリスト教団 松山教会 松山市味酒町2-7-1 電話 089-941-3476

※駐車場はありません。公共交通機関でご来場ください。

主催: 福島原発事故避難者裁判を支える会・えひめ

松山市石手2丁目9-21 石手寺内

電話 089-916-3056 fukusasaeru@yahoo.co.jp

料金: 500円

東京電力福島第一原発事故から7年が経過しようとしています。福島では避難指示が次々と解除され、避難者たちは「帰還」を巡って苦しんでいます。心理的にも社会的にも経済的にも追い込まれています。福島の今、避難者の今を知るために、福島県二本松市出身のロックシンガー遠藤ミチロウさんが監督した映画『SHIDAMYOJIN』の上映会と、木村真三さん(鬼北町出身)と監督のトークショーにご参加ください。



木村真三さん

遠藤ミチロウさん

福島原発事故避難者裁判とは、

福島県から愛媛県内に避難した人たちが、国と東京電力に対して、事故の真相究明と損害賠償を求めて松山地裁に提訴したものです。

遠藤ミチロウ監督作品「SHIDAMYOJIN」上映会

対談 遠藤ミチロウ（福島県二本松市出身 ロックミュージシャン）＋ 木村真三（愛媛県鬼北町出身 放射線衛生学者）

タイトル；愛媛900^キの彼方から

～福島（福島第一原発）900km →愛媛（伊方原発）← 900km沖繩（嘉手納基地）～

原発事故により住む場所を奪われ、先祖伝来の土地を離れることを余儀なくされた人々がいる。多くの人々は、次々と爆発する原子炉建屋に恐怖し避難を開始する。それ以降、子供を抱えた家族は県内外に避難をし、原発事故の終息宣言が出されても帰還する数は鈍い。3世代家族や4世代家族が崩壊し、何十年、何百年と付き合いをして来た隣近所とも離ればなれとなり独居老人や老人だけの家庭が増えた。地域のコミュニティが崩壊し、限界集落化が著しく進んでいる。

一方、沖縄は薩摩による琉球侵略、明治維新後の琉球処分という強制的廃藩置県による独立国家存続の排除、植民地支配のための同一化を推し進める皇民化運動、そして太平洋戦争敗戦後の米軍による沖縄支配の歴史と本土の安全保障の名の下に被害を被る沖縄県民の話は、福島の原発立地の歴史と重なる。

福島でも古くは坂上田村麻呂による蝦夷征伐が行なわれ、戊辰戦争では会津藩を中心とする奥羽列藩同盟により新政府軍と戦い、敗戦の歴史がある。「白河以北一山百文」、白河の関を越えれば山ひとつ百文にしかならない土地と蔑まされた。東北地方の原発誘致は貧困とのせめぎ合いのなかからもたらされて来たものである。

愛媛県は四国電力伊方原発を抱えている。歴史的背景は福島、沖縄と異なるものの原発建設、米軍専用基地設置につながった経緯は底通する。南海トラフ巨大地震が今後30年以内に起きる確率は7割とも言われている。対談では、映画を通して見えてきた原発事故、過疎化が進む「地方」のあり方にも踏み込んで話をしてみたい。

木村真三

日時 2月17日（土）13時開場 13時30分開演

会場 日本キリスト教団 松山教会 松山市味酒町2-7-1

主催 福島原発事故避難者裁判を支える会・えひめ

松山市石手2丁目9-21 石手寺内 電話 089-916-3056 fukusasaeru@yahoo.co.jp

プロフィール



遠藤ミチロウ（67）は、ロックミュージシャン。福島県二本松市出身。1980年代から1990年代に活動していたパンク・ロックバンド、ザ・スターリンの結成者でありヴォーカリスト。スターリン解散以降はソロ、アコースティックバンドで活動し、還暦を越えた現在も精力的にライブ活動を行っている。



木村真三（50）は、放射線衛生学者。東京電力福島第一原発事故直後、勤めていた厚生労働省所管の研究所に辞表を提出し、NHKと共に現地に向い汚染状況を全国に伝えた。現在、獨協医科大学准教授。事故後、活動の中心を福島県二本松市に移し調査を続けている。

会場地図

